

序 文

昭和四十九年に開設された県立図書館主催の「宮崎県地方史講座」は、平成十七年度で三十二回目を迎えました。この間、考古・歴史・民俗・文学史などの分野から延べ二六五名の講師をはじめ関係者の方々に、多大な御理解と御協力を賜りましたことに対し、心からお礼を申し上げます。

本講座が県民の皆様に一層親しまれ、老若男女を問わず多数の方々に受講していただきたいという願いを込めて、今年度も「ふるさと再発見！ ときの流れに夢がふくらむ」と題して講座を開催しました。今回は、県立図書館のほか、都城市を会場に実施しましたが、都城市教育委員会並びに地元史談会等の御支援と御協力により、地元をはじめ多数の県民の皆様の出席を得て活気に満ちた講座を開催することができました。

本研究紀要は、四名の講師の方々が、講座の内容を吟味・整理し、更に加筆されたものです。内容は、長友禎治氏による「初代飢肥藩主伊東祐兵の夫人（松寿院）について」、飛田博温氏による「藩校教育と千手八太郎」、藤井美智雄氏による「西南戦争時における日向国民衆」、塩水流忠夫氏による「大淀川観音瀬水路開鑿について」であります。未発表の事項も多く、何れも本県の地方史の研究・発展に大きく寄与するものと確信いたします。

既刊同様、本紀要が県民の皆様幅広く活用され、調査・研究の一助となれば幸甚です。

平成十八年三月

宮崎県立図書館長 伊 藤 惇 一